

東由利村報

No. 117 1967.4.1

発行 東由利村役場 毎月1日発行 定価1部5円
印刷 KK本間印刷所

村議会3月定例会

□□□□□□□□□□□□□□□□

新年度予算総額

1億7061万円決る

前年比793万円増



昭和42年度予算案などを中心とした3月定例村議会は10日招集され、午前10時本会議を開いた。

今議会で審議される議案は、新年度一般会計予算案および特別会計予算案、41年度一般会計補正予算案など予算関係7件、条例関係5件、収入役など選任につき同意を求めること3件であり、3月22日

、本会議を開き、各委員長よりそれぞれ委員会の結果を報告し、質疑・討論・表決をおわり、

昭和41年度一般会計 補正予算

歳入歳出それぞれ10,478千円（歳出の重なものは、財政調整基金積立金750万円、役場工事費91万円、農業振興費227万円など）を審議可決し、

玉米財産区特別会計補正予算、歳入歳出16万8千円を全部原案どおり可決して、13日間の議会をおわった。

▷収入役等選任に同意△

このたびの議会で次の方々が選任に同意された。

収入役 佐藤玉治
監査委員 長谷山理一郎
固定資産評価審査委員
木島節造

▷一般質問△ (10日)

老方・蔵地区に水道を長沢毅議員、大部落で水道施設のない老方・蔵地区に、村として水道施設をする考えはないか

村長、施設地域への融資・助成は考えているが、村として施設する考えはない。

産業開発審議会を設けよ

川尻幾郎議員、現在農業振興のためその対策審議会があるが農業に限らず、農工商あらゆる分野の産業を開発するため、産業審議会を設けて幅広く産業の開発指導に当るようにしてはどうか

村長、ご説のとおりの開発機関を設けたい。

学校給食の完全実施

長谷山千代蔵議員、村内小中校全部に速やかに完全給食を実施すべきだと思うが

村長、財源の問題もあるが、給食には生牛乳を飲ませることを考えたい。

出稼の実態把握

長谷山喜一郎議員、出稼の実態（目的・収入・人員）をつかんでいるか

児童・生徒の交通安全のため危険個所に標識をほしい

村長、出稼の実態はその大要をつかんでいる。目的の第1は消費に対し生産が伴わない分をうめるにある。

特殊学級について

伊東与吉議員、小学校だけに設けられている特殊学級はその施設のない中学校でどんな効果があるか

教育長、中学校にもぜひ設けなければならないが、空教室がないので実施しかねている。

地下資源の開発

佐藤謙吉議員、（要望）

地下資源開発のため、ボーリング事業を実施するよう

に

村長、これは村としてやるよりも、議会議員の総意として強力に推し進めることが望ましい。

議員一同も拍手をもって賛意を表した。

村長施政方針

新年度の最重点施策

道路網の整備と

生産基盤の拡充

予算編成方針

昭和42年度東由利村一般会計予算の提出により、本日からその御審議に当られる議員各位には大へんご苦労をおかけ致します。宜しく御審議の上御賛成下さいますようお願い申し上げます。

昭和42年度国の新年度予算案は景気の過熱防止をメドとしたいわゆる「警戒的中立予算」だといわれるがそのため国債発行額を抑え、道路災害復旧などの公共事業は、大幅に削減されているし、地方債もかなり縮減され「地財補てん対策」として自治省が強く要求していた、臨時地方財政交付金も認められていない。こうした国の予算案が、どのように県財政にひびいているかは、村としても重大関心事であり、高い、広い立場から国政の実体を討検し、その方向を解明したいと存じています。

県の予算規模も一般会計の総額476億円というかってない大型予算案となっています。それだけに、この予算のもつ内容や性格は、今後の県政の方向に大きな影響をおよぼすものと見なければなりません。

村の予算におきましても、収支のバランスのとれた「健全財政をもってつくりあげました。そこで予算の焦点である村財政の究明であろうと思います。

いまでも限られた財源の中で、その期その期に応じて、多くの建設的事業に投資を考え手堅く見積った次第であります。一方では人件費が年と共に增高し、公債費、扶助費などの義務的経費と物価高による物件費の増大が予想され、反面、歳入は減税のさけられている今日税制改正等

により地方交付税の伸びは誠に鈍化して期待出来なく国税の増収による地方交付税が、これまでの最高になると報ぜられているのを期待するより外ない現状であります。勿論抜本的な財源措置は、国の施策改善と「小畠県政」に待つところが多いのであります。しかし、県自体としては、たとえ苦しくとも県民生活の向上や、東由利村のように、辺地の地域格差の解消のために積極的に、事業を押し進めて貰わねばならないことを直接訴えています。その苦心は大へんだろうが問題はそのため県が借金がふえても致し方ないことをも願っているのであります。

新年度予算(歳入)

42年度の予算総額は「1億7千61万4千円」であります。

1、村 税 2千5百73万4千円

1、地方交付税 7千万円

1、宜行造林分収金を中心とする財産収入
2千36万6千円

1、基金繰入金 8百万円

1、地方債は造林融資金6百50万円を含めて
1千百万円

1、その他、歳出の伴う特定財源及び繰越金など3千5百51万4千円を合せ 1億7千61万4千円

の歳入をもって編成して居ります。

基金繰入につきましては、今後の学校統合等の経費にと、1千万円程度の蓄積を計った次第であります。

新年度予算(歳出)

歳出の面について申し上げます。

住民生活及び産業振興、農地の基盤整備等を重点施策といたしました。

1、国、県道及び村道の整備と拡充

1、生産基盤の整備と拡充

1、小中企業者の体质改善とその振興

1、人づくり問題と学校教育及び社会教育の充実

1、住民の健康と予防対策

1、楽しみのある生活環境づくり

1、財源に寄与する財産造成に努力させる住民への呼びかけ運動

等に力を入れて編成いたしました。

道路対策

整備費村税の2倍

道路対策費としては、道路は「人間生活の基盤であり根幹である」と思い、都市と村・村と隣りの町や村とを結ぶ道路整備を最重点にいたしました。

さらに「経済社会開発計画」にも即応して、常に中央と県当局、いわば、その局に当っている方々と深密な連絡を取り、手を組みあい相提携して行かないとその効果はあからないので常に身をもって努力し続け、「伸び行く拓け行く」成果をあげ得ましたし、今後も一層の努力をいたし、村民の期待に副いたい考えであります。国、県道関係におきましては、国道は43年度には東由利村分は完全舗装は完了すると思いますが、側溝改良は、大琴、新田、五海保の3カ所があります。県道では、改良工事として寺田、須郷、松沢、白沢峠の4カ所であります。白沢峠は明43年度の公営でやることになり、およそ、1千万円といつておられました。なお、法内若宮橋、寺田橋は永久橋に架替えになる予定であります。県道の舗装は、黒淵地区、蔵、岩館地区ですが、6月県会には更らに期待をかけて居ります。

これらの県単工事は3分の1負担で6百78万円を計上しております。村自体としての事業といたしましては、村道、林道を合せて

1、開設工事 11線 2千7百25㍍ 1千8百万円

1、改良工事 301㍍ 5百65万8千円

1、橋梁架替工事 6線6橋 1千4百80万9千円

1、維持修繕費 8百98万2千円

内砂利関係は、7百50万円であります。その他関係諸費を入れますと、道路整備関係諸費、5千百60万円になります。この金額は、村税のおよそ2倍に当ります。この経費で村の土木工事をやりましても、村長の要望を充たすに足るものではありません。村民や皆さんのが要望、期待に応えるには、まだまだ遠いのでありますが、私の続く限り村議員一体となりまして、必ず期待に応え喜んで貰えることを楽しみにしてガンバル覚悟であります。

産業基盤整備

事業一応完成

次は産業基盤整備であります。近来、集団生産組織の育成、大型機械の普及、これらを進める上の農地制度の改正など国の計画でもあり、去る40年度より農業構造改善事業を実施、基盤を整備し、稻作、養蚕、畜産とその作業能率を挙げて参りました。42年度はその事業の完成の年であり、これらの経費を計上しまして最大の効果を挙げたい所存であります。また、村の事業としましては、放牧場の附属施設として、牧道、追込舎用水施設等、トラクター設置事業、除雪運行事業をとりあげ、その事業費、9百75万9千円を計上しました。土地改良区事業は確定測量28.0㌶、12万8千円を見積りました。養蚕組合事業は、共同飼育大小合せて19棟、附属機械器具等設置合せて、5百61万2千円の事業費であります。これらの外に県単パイロット事業として田代、地区に桑園造成10㌶、7百26万9千円の事業費で実施することになりました。こ

(3面へつづく)

(2面からつづく)

これらの総業費は2千4百8万円であります。

予算については村事業費として、事務所費及び他団体の補助金を合せ1千6百66万3千円、補助額1千百26万6千円を計上いたして居ります。

なお、辺地開発を計画し小団地開発事業費補助として「50万円」を計上し、予算の範囲内で事業補助いたしたい考えであります。国や県でも、辺地の開田開畠を奨めており、農林中金のワクの中から安い融資金もあり、東由利農協、玉米農協とも連絡して積極的に奨めたいと考えであります。また、養蚕事業も進展著しく指導員設置の要も迫られて居り幸い郡指導所長さんの厚意により、新たに1名設置が可能であり、農協職員として採用を願い、「全村指導」を条件として10万円」の設置補助を出したい考えであります。

秋田県におきましては、田10石当たり1俵、増産3割省力90石以上の「上位等級米」を目標に「健康な稻作り運動」を行うことになりました。本村におきましても、これと呼応して成績優秀な部落を「3プロツク」各プロツク「部落の表彰」を計画しその経費を計上致しました。また、病虫害防除について受益者の理解を得て、ヘリコプターにより防除を穂ばらみ期前実施したい考えで現在「共済、農協」と共に勧奨中であり確定を待つて来る6月村議会へ補正予算で考慮したい考えであります。本村の畜産は延び悩みの状態でありますが、広大な山野と原野を有する本村にとりましては、この利用による畜産は、農家経営拡大の一環として欠くべからざるものであり、これが対策経費として百54万1千円を計上、農業構造改善事業と相まってその進展を計りたい所存であります。

教育費

次に教育費でありますが、42年度予算2千6百96万円を計

上いたしました。教育委員会の活動を尊重し、十分な教育効果を挙げるよう努めて居り敷地その他の事由により未確定であるので、確定後措置したい教員住宅を除き教育委員会よりの要求は充たした予算であります。42年度は、学校營繕関係の費用が多く、また教材振興費としての理振2校(宿、玉米)32万円、校医報酬、給食婦給料の増額、用務員の日直手当の支給、研究費の増額等を考慮して計上いたしました。働きつつ学び、学びつつ働き立派な成績をあげている定時制高校にも、それぞれ要望に応えて経費を計上いたしました。社会教育においては、公民館活動、農業セミナーなど、各種学級を中心とした活発化を計り、青少年育成協議会、児童生徒問題協議会等による青少年問題等児童福祉の問題と共に、郡、県各協議会と連携協力し、防犯交通対策等人命尊重の大方针のもとに「人作り運動」を展開するため、これら対策費を計上いたしました。また、児童館を老方下通りに予定して居りますが、現在部落において敷地等の調整を計っている段階であります。

保健衛生

次に村民の健康管理の問題でありますが、人は健康でよく働くことが最も幸せであると考えるのであります。この対策には本村の財政からして充分とは参らぬ状態にあります誠に残念でなりませんが、せめて1日1人当たり牛乳3合を飲めるように、1農家1頭の乳牛を飼育し、残余の乳は売るようにしたら、1家の経済もよくなり、体质も見違えるようになります。そして、頭脳の優秀な子供は育ち日本一健康な村となり得る。日本でガンで死亡する人は多いが、毎日3合の牛乳を飲むと救われると過般の「世界医学大会」で証明された。和牛ブタ、ニワトリ、卵など一寸

努力さえすれば飼育は充分可能であるし、強大な人作りに一段のお力添えをお願い致します。予防によるのは勿論のこと、インフルエンザの予防にん産婦、乳幼児、老人等の検診を初め、成人病の駆除対策、また、カ、ハエの計画的防除など環境衛生にも意を用い「住みよい楽しい村作り」の一環といたしたく、また、昨今血液不足に対応しての「献血運動」も展開するための費用として、「献血協議会」に助成費を計上いたしました。これらの衛生関係経費4百72万7千円を計上して居ります。また医師不足から閉鎖の状態にあります黒淵診療所も昨12月老方の小松先生、館合の小松両先生の協力により「週1回」の診療を行つて居り、地域住民の便を計つて居りますが、由利組合病院の医師の充実を計り次第元の通り復活されるようになると、和泉院長より申し入れありました。大琴診療所は来る20日から医師が派遣されるよう決定されました。

山野の開発

次に財産造成についてであります。本村は広大な山林と原野を有し、この山野の高度の利用開発が緊要なことであることは論を待たない所であります。42年度の造林計画は新植46.2石、補植保育を合せて、290.6石7百13万6千円を以って事業を施行し、看手人の設置、防火線の手入、火災保険等により、管理の万全を期す所存であります。これら実施に要する作業員の数も実際に多く必要とし、最善をつくしてその確保につとめ村民の協力を期待して成果を挙げたい所存であります。また部落分収林におきましても勧奨し、42年度は19部落15.3石の造成を計画して居ります。

行政関係費の増額

その他の行政関係費として

非常勤職員の報酬を増額改定いたしまして待遇したい所存であります。議会議員を初め非常勤職員、一般職員の研修費を計上しまして、それぞれの職分に応ずる研修をして戴きたく計上いたしました。

税金完納

本村は長い間納税の成績が悪く、その向上に努力して参りました。幸い議員諸君初め全村民の大きな理解と協力のもとに、去る40年完納の「金字塔」をたてて下さいました誠に感謝に堪えません。この成績を崩すことなく完納を続け今年の秋は、昨年の約束通り小畠知事さんをお迎えしてお祝いをいたしたいと存じています。部落の交付金の増額納税組合助成完納の奨励の内容を多少替えましてよりよい成績を挙げて参りたいと存じます。

消防

報酬手当の増額

その他消防団員の報酬、手当の増額、冬期出勤に支障のないようヒーターの取付け、また、試験的可搬式ポンプ積載用トラック1台を購入等の経費を計上いたしました。

将来の希望

言うまでもなく村の自主的財源が乏しく、国や県に依存する要素が大きいことあります。歳入の77石は、補助金など何らかの形で国や県からのヒモ付き財源であるから、国や県の予算と切り離して村予算は考えられないことを忘れてはなりません。もちろん抜本的な財源措置は、国の施策改善に待つところが多い。しかし、村自体としてはたとえ苦しくとも、村民生活の向上奥地との地域格差の解消のためには、積極的に事業を押し進めていかねばならないことの覚悟を新たにし、国や県に呼びかけ理想の東由利村建

(4面へつづく)

(3面からつづく)
設にまい進する覚悟でござりますから宜しくお願ひ申し上げます。

最後に申し上げることは昨秋自治省は、吾が村を「過疎地帯」として、行財政総合調査されました。調査は、人口が急激に減った地域は、どんな悩みや問題をかかえているか、そのため国や県はどのような施策を講すべきかを課題に、役場の職員ならびに住民の声を聞かれた調査は3日間ありました。

この結果

- 1、東北の奥地では、豪雪による障害が各方面に大きな影響を与えてること
- 1、教育医療施設が不備であること
- 1、道路、橋梁などが未整備なこと
- 1、地域産業に恵まれないこと

など浮きぼりにされ、私からは「人口が減っても住民福祉の増進をおろそかにしてもよい理由はない」として、交付税の傾斜配分や各補助金を辺地へ増額する措置をしてほしいという強い要望をいたしました。この結果、今後の地域開発計画にも役立てる予定だと成田自治大臣官房企画室長からの音信もあり、県としても、今回の調査で明らかにされた問題点や対策などをまとめ、県の施策に反映させるとともに、国が実施すべき事項についても強く実現を働きかけている考え方だと、県の企画部室長は言って居られました。

以上、村長としての施政方針はこの程度で終らせて戴きますが、くわしいことは、助役、各課長、各係員にお答えさせますから、御了承の上宜しく、お願ひ申し上げます。どうも長時間ありがとうございました。

以上

▷一般会計特別会計その他を一括した事項に対する質問

伊東与吉議員

○議決は執行に優先するものだと思うがどうか

村長、ご説のとおりで、議決より執行が先行するようないようとする

○諸団体・諸会合の場合、役場で宴会をすることは、今後自粛すべきだと思うが

村長、出来るだけご趣旨にそろうようにする

○玉米中・老方小・藏小の飲料水は質量共に不十分であるがその対策は

教育長、単に学校だけでなく関係部落とも話し合って解決したい

○就学奨励費支給者の決定は必ずしも妥当でないと思うが

教育長、これまでの調査は学校に一任してあるが、今後は民生委員等の協力により適正なものにしたい

○下郷中学校の屋外運動場を少くとも野球の出来る程度に拡げられないか

村長、大事な問題であるが、まわりの地主の承諾を得ることが先決問題である

○教員住宅は中学校用小学校用などと差別をつけないで団地をつくったらどうか

村長、よい先生をむかえるため、教員住宅建設の調査会を設けて善処する

昭和42年度 定例総会

東由利婦人会 結核予防婦人会

3月24日午前9時30分から役場で総会を開いた。

41年度の決算承認・42年度の予算審議をしたあと、本荘保健所長の「不幸な子どもを生まない運動」のお話、助役さんから「昭和42年度村予算のあらましについて」のお話を聞き、映画をたのしんだ。

本年度の重点目標として申し合せたことは

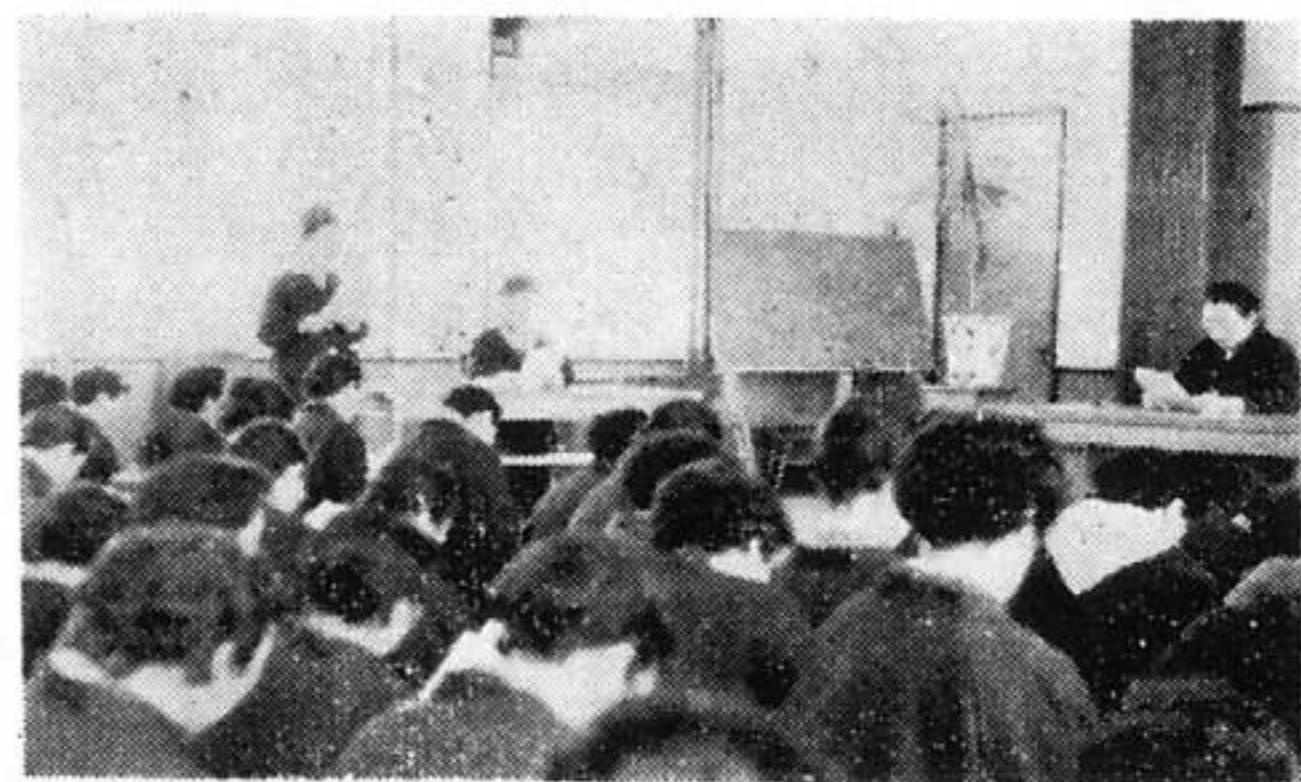
○しあわせな社会をつくるた

めに、政治に対する関心を高めよう

○記帳と予算生活をとおして家庭経済の健全化につとめよう

○家庭と社会との環境を明る

くし、青少年の健全育成につとめよう
なお今年の展示会の盛況にかんがみ来年度は即売会を併せて盛大に行うこととした。



【婦人会総会】

中学卒業生 の進学者 全員合格おめでとう

全県高等学校の試験成績は2日夜中から発表されました。玉米・下郷両中学の受験者全員が合格しました。なお高校以外の受験者もそろって合格しています。まことにおめでとうございます。

学校別合格者数は次のとおりです。

学校名	下郷中	玉米中
国立高専	1	
西目農	8	
本荘高校	18	6
由利高校	7	2
由利工業	4	1
横手城南	4	
秋田・北	1	
経大附商	1	
矢島高校	1	2
能代農工	1	1
農学天王	2	
〃神岡	1	2
沼館高校	2	3
和洋〃	3	1
敬愛〃	7	2
本荘準看		1
仙台電波		1
定期制	17	19
計	78	41

教職員異動

<転出>

岩見小(玉米小)佐藤五郎

矢島小(老方小)原田明美

新山小(老方小)佐藤敏子
鯉川小(老方小)新田茂男
玉米小(藏小)佐藤新一
岩谷小(藏小)原田伊都子
老方小(法内小)小野辰心
宿小(法内小)今野儀工門
矢島小(宿小)森田恒雄
亀田小(宿小)大場玲子
新山小(袖山小)三浦ユミ子
象潟中(玉米中)佐藤清典
西目中(〃)高畠利子
石沢中(下郷中)小松昭作
下川大内中(〃)田口利弘
松ヶ崎小(〃)佐々木孝子
上新城中(〃)村上弘
西目小(玉米中)高畠惺
法内校長(袖山)畠山俊一郎

<転入>

老方小(子吉小)石川盛一
〃(象潟小)佐々木久子
〃(〃)須田珙子
藏小(直根小)伊藤喜美子
〃(小友小)大庭武
法内小(矢島小)佐藤市右工門
宿小(鯉川小)大場芳美
宿小(西目小)安藤兌子
袖山小(矢島小)石川信
玉米中(仁賀保中)佐々木誠

玉米中(金浦中)須田晃子
〃(川内中)斎木栄子
下郷中(象潟中)安藤武俊
〃(南中)渡辺良輔
〃(川内中)千田顯
袖山校長(笛子小)丸山亮
<退職>
(法内小)小松長左工門
(宿小)藤原虎之助

青春のない村

読売の記者が見た我が村

この間読売本社から記者が来て、村のことをいろいろ調べて行きましたが、以下はその記事の要点です。

「若者が急にへっていくので『この分でいくと青春のない村になってしまふ』というなげきの声も聞かれる。20代の激減が目立ち、10歳までの年齢層を底辺とした年代別ピラミッドも図のように、20代がガタンと落ちくぼんでいる。」

一方、土を守り、村にふみとどまっている若者たちは、なにを考えているのだろうか。○昨年11月、自治省調査団が村の婦人、青年代表とヒザを交えて話しあったところ、

①農業やわれわれの村がこんどうなっていくのか。国なり県が具体的なビジョンを示してほしい。

②農業経営の主体を若い者に移してもらいたい。

③土地もなく、資金もない青年はどう生きて行けばよい。

のか。

という疑問・注文を投げている。

これまでの辺地対策のように、村を住みよくするだけの消極策だけではダメだ。人口の流出を最少限に喰い止め、農業を積極的に振興しなければならない—と自治省もようやく対策に取り組もうとしている。

東由利でも、共同飼育による養蚕と酪農に村の運命をかけようとしている。3年後にカイコで2500万円、10年後に乳牛1千頭と夢は大きい。綿とミルクで青年たちを村につなぎとめることが出来るだろうか。「ワシたちは土に生れ、土にかえるのだ。とにかく一生けん命働くしかないじゃないか。それにしても、百姓の汗を生かす政治がほしい」村長さんはつぶやくのだった。

生活品展示会



- 2. 食品加工 164
- 3. 農産物 14
- 4. 定時制出品 衣料 13
- 5. 生花 19
- 6. 参考品 21
- 7. 大琴農協婦人部貸衣裳一式
- 8. 定時制高校演示

展示品のうち特に審査員（本荘普及所員）のほめて行ったのは加工食品中のフライビ漬で、こ

東由利村婦人会では3月5日老方小学校で生活品展示会を開いた。

出品物は下記のとおりで、その質量共にはるかに予想をこえ、当日の観衆も会場をうづめる盛況であった。

展示品
1. 手芸品・衣料 149

れまで象潟・矢島など6カ町村を審査して来たが、品質漬方ともこんな優秀品は始めてだとのことであった。

また定時制高校の演示は、苦心の作で、世に訴える真けんな内容を持っていた。もっと心ある多数の人々に参加してもらいたかった。

愛の血液で

助け合い

＝献血車来村＝

予報していたとおり、3月15日赤秋田県支部の献血車『あかつき号』が来ました。

献血に対する村民の理解が追々高まって来たようで、新町の『ともしひの会』『若い女の方々の集団献血などもあって、前回とはくらべものにならないよい成績で、日赤から来た係員を始め、関係者一同心から感謝しております。

なお各献血場別の献血者数は次のとおりです。

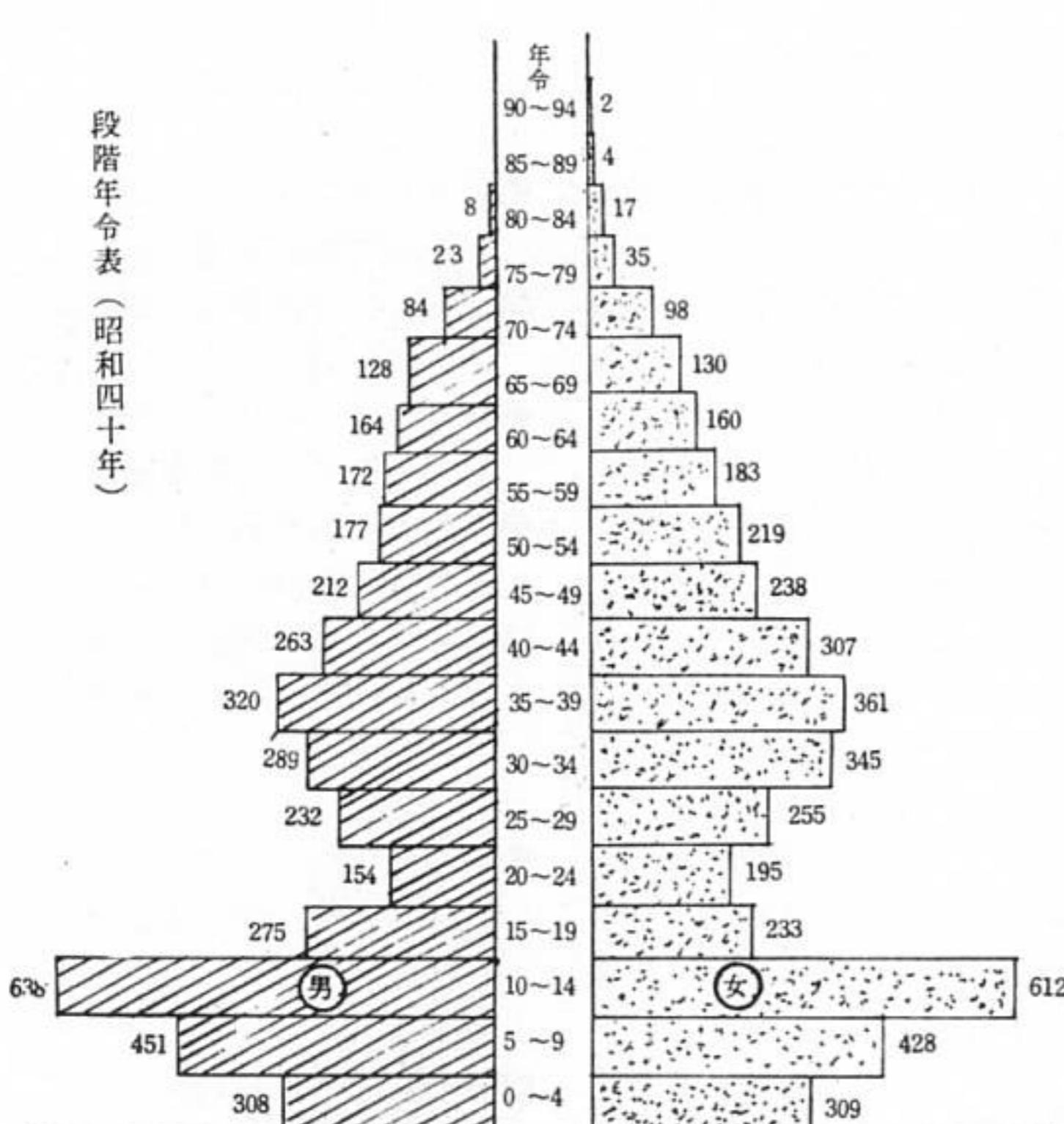
場所	男	女	計
玉米農協前	8	3	11
役場前	32	10	42
新田児童館	24	8	32

大琴 9 11 20
計 73 32 105

この日、137名の献血希望者がいましたが、血液の比重不足や高血圧のため32名は献血出来ませんでした。これはまことに惜しいことで、ご本人のためにも日頃栄養についていただきたいと思います。

- 献血は満16歳から65歳
- 普通の健康体の方ならなんのさわりもありません
- 採血の前には必ず医師がしらべます
- 献血された方がもし血液を必要とする時は優先的に「献血の血」をご使用出来ます
- 献血していただいた方には献血手帳・献血バッヂをさしあげます

段階年令表
(昭和四十年)



みどり保育園卒園式

第8回みどり保育園の卒園式は、3月20日、村長始め多数の来賓とお母さん方全員参加のもとに行われた。卒園児は54名で残るのは3年児4名



「明日のない八丈小島から」(2)

長谷山 治 弥

子どもを学校に通わせるにも、一切がタダで、9人の小学生に、9人の教職員がいるのですから、おそらく日本一ぜいたくな学校でしょう。

校長など年間半分も学校には居らず、校長、教頭共に不在のことも何日かつづきますが、別に支障がなく、半数以下の教員でも充分平常どおりの授業が行われています。

こんなところですから、ときどき各地からの贈り物なども（子どもにだけ）あり、修学旅行といつても、自前で出すのはおこづかいぐらいで、たいてい誰かが費用を出してくれています。エンピツ・ケシゴムなどは使いきれないほど集まります。

新聞や郵便などは、1カ月に4回ほど配達されますが、別に決った日があるわけではありませんし、東京に居れば朝、寝床の中で新聞を読むのが楽しみでしたが、一週間も10日もおくれた古新聞のタバでは、中々開く気にもなれずそのままにしてしまうこともあります。

1番の楽しみは、たまに来る船で届けられる郵便物なのですが、いつ投函できるというアテのない手紙を書くのは、気のすすまないことです

2年児20名

送るもの、送られるもの、たがいに唱歌でいさつするかあいらしい情景であった。

からヒニクです。

草木も、南国のことなれば秋田では見られないものが多く、一面にはえているフキなども、葉がつるつるして、ツバキのハツバのような感じです。当地特有のアシタバという野草は、別名八丈草ともいわれ、今晚その葉を採って夕食の膳にのぼせても、明朝はまた新らしい葉が出来ている程精力の強い草なので、「アシタバ」というのだそうです。中国の昔、秦の始皇帝が不死の仙草として求めたのもこのアシタバであって、それをさがしに出された人たちが帰れなくなってその地にとどまって、八丈島民の先祖になったといわれています。

(つづく)

長谷山治弥氏

地下の沢出身、長らく東京にあって先生をつとめるかたわら、在京東由利会の事務を一身に引受け下さった方です。昨年八丈島行きを進んで希望され、資料を集めて本を発行し、忘れられているみぢめな島の生活を世に向う決意と聞いています。

善 意

このたび森田ヨシさん（森田先生の母、75才）から蔵小学校へ雑巾35枚、加藤ハルエさん（加藤清氏母67才）から雑巾20枚、宿部老人会から同35枚を役場へ、それぞれ寄贈して下さいました。心をこめた贈り物、深くお礼申上げます。

早春の朝の陽のさす校庭でかた雪をふみ子らは遊び雪のこる山ふところをこだまして屋つげるサイレンひびきわたれり

軒高く雪残り居る教室の窓より流る卒業の歌
さ夜ふけて卒業文集読み居れば校長われのこと書きてありうらうらどはるは来にけり遠山に白くかがやく雪は残れど

の事業を成功させることは、村を生かす手がかりにはなる本気になってやって見ましょう。

4月「家庭の日」

の例示

=4月16日=

4月家庭の日のために次のようなことを取上げて見ました。これを参考にみなさんで工夫してよりよい計画をたて実行するようおねがいします

○家庭内外のおそうじ

雪の消えたあとはとかくうちの内外ともちらかっているものです。この家庭の日に、家族みんなが力を合せてお掃除をし、たまたまゴミと入れかえに、うららかな春の光と新鮮な空気を家の中にも心中にも一ぱいに入れるなどはどうでしょう。

●仕事の前にみんなで話して持場をきめる

●子どもには仕事のしかたをよく教える

●薬剤もまく

○火事や交通の事故防止

●春先は火事が多いので我が家家の防火を話し合う

●子どもことに新入生の交通事故を起さないように話し合う

○花だんづくり

●どんな花をどこに植えるかを話し合い、子どもが自分の花だんを持つなど面白いでしょう

●苗の育て方から花についてくわしく話してきかせることも大切であり、自分で仕事をすることは一番よい勉強になります

早春 山田礼智

靖国神社 春季例大祭

今月21日から23日までは靖国神社の例大祭です。御国に殉せられた方々のみ魂に深く感謝し礼拝することにいたしましょう。

一ああ同期の桜—

予備学生出身特攻隊員手記
昭和20年2月22日

元山航空隊にて遂に特別攻撃隊神風特攻隊員となる。

来るべき30日間、余の真の人生なるか。時機到る死ぬるための訓練が待っている。美しく死ぬるための猛訓練が。悲壮なる祖国の姿をながめつつ余は行く。全青春を30日間にこめて、人生駆け足に入る。—

吾等は喜んで国家の苦難の真ツ只中に飛込むであらう。われらは常に偉大な祖国、美しい故郷、強い日本女性、美しい友情のみ存在する日本を、理想の中に堅持して敵艦に粉砕する。

今日の務は何ぞ、戦ふことなり

明日の務は何ぞ、勝つことなり

すべて日の務は何ぞ、死ぬことなり

われらが黙って死んで行くよう、科学者も黙って科学戦線で死んで戴きたい。その時はじめて日本は戦争に勝ち得るであらう。若し万一日本が今ただちに戦争に勝ったら、それは民族にとって致命的な不幸といわねばならない。

生易しい試練では、民族は弱められるばかりである。

海軍大尉 岡部平一の命
昭和20年4月12日南西諸島方面にて戦死、福岡県糸島郡芥屋村出身、22

おそろしい 山火事を なくしましよう

今年もおそろしい山火事の

危険期になりました。

- 山火事の原因は
 - 1タバコの不始末
 - 2たきびの " "
 - 3無届の火入

○山火事をなくすために次のことを固く守って下さい。

- 1採草地への火入をやめる
- 2火入は村長の許可をうけて
- 3許可を得ても異常乾燥と強風の日はやめる。
- 4残火のないことを確かめる
- 5タバコの吸がらはよく消す
- 6山でのたき火はよく消す
- 7火入は風下、峯通りから
- 8よく注意して軽はづみな心で火を扱わないこと

○

林野への火入は公有私有を問わず必ず村長の許可を受けて下さい。

声をかけあう

運動

このたび、県の青少年健全育成会議で始めた県民運動であるが、これはまことによいことだ。

これは誰でも出来ることであり、1円の金もかからない。それでいて、あらゆる人と人のあたたかい結びつきが深くなる。みんなで気がるにやることにしましょう。

何んといつてもまづ手始めは家庭からで。

あいさつ

○家族おたがいにあいさつをかわす習慣をつくる。
おはよう・おやすみ・行ってまいります・おかえりなさいなど

感謝

○自分の子どもでもよいことをしたらほめてやる。

○外でよいことを見たり、よいことをされたら感謝のことばをいうように教える。
ありがとう・どうも・ご苦労さんなど

注意

○自分の子はもちろん他人の子にも注意すべき場面を見たら注意し合う。

○注意されたらすなおにきき

いれるよう教える。

あぶないよ・やめましょうなど

家で習慣づけたことは、学校で、その地域で、いつでもたれにも声をかけることが出来るように運動をひろげましょう。

通信教育で

秋田高校卒業



新町の遠藤富蔵氏長女幸子さん（東由利農協勤務）は、このたび通信教育で、見事秋田高校を卒業した。我が村では始めてのことだ。

○幸子さんの話

私は38年の4月、定時制高校を2年で中退し、農協につとめると同時に秋田高校の通信教育を受けることにしましたが、あれから4年、やっとこのたび卒業することが出来ました。

通信によって勉強する外に毎月2回スクーリング（面接指導）を受けるために、学校に出て行きました。

このたびの卒業式は12回目で、卒業生はまだ60人かだそうですが、今年の卒業生は11人でした。

このことについて深く感動した農協組合長（村長）は、3月31日表彰状と記念品をおくり働きながら学びとおした強い決意と実行力をたたえた

昭和41年度

生産優良増産班

県と村が一体となってがんばっている「健康な稻づくり運動」「反当一俵増産運動」について、我が村では2月7日今年の運動計画をきめて、

今年の稻作に取り組むことにしており、41年度の産米生産の優良増産班を表彰することになり、このたび次のとおり決定され、近く開かれる部落長会で表彰されることになった。

○

	地区第1位	第2位	第3位
A	下吹	大琴西	中通
B	十二前	小倉	久保
C	沼	大台	板戸

4月は選挙の月

今月は4年ごとにくりかえされる「統一地方選挙」の行われる月で、知事選挙と県議会議員の一般選挙の投票日は4月15日、市町村長と市町村議会議員の選挙（我が村にはないが）の投票日は4月28日と各選挙が折り重なって行われている。

有権者に訴える

いつの選挙でもいわれるところで、いつの選挙でも出来ない「明るい正しい選挙の実現」について、全国推進協議会会長の小島さんが、次の3点を有権者に訴えている。

(1)我が郷土の現状と将来を考えよう。

わが郷わが村はどうかわって行くか、どうかわらせなければならぬかを考えてそれに結びつく人を選らぶ

(2)清潔で力のある人を人を得てこそ施設や事業が着実に進められる。これまでの事例でわかる事だ。

(3)きれいな選挙にしよう選挙にかかわりのある金品は一切はね返し、金のかからないきれいな選挙にしよう。

有権者は主権者だ

有権者は主権者である。自分の國だもの主権者自身がよくしないで誰がよくするだろう。地方自治（県市町村）は国の政治の土台である。

清き一票にすることも、黒い一票にすることも、有権者の心一つで、何人も左右する力がない。問題は実にかんたんである。もともと神聖であり、ありったけ清らかな一票である。それをそのまま使えばよいわけだ。「自分は主権者である」という強いほこりをこめて。